

参考

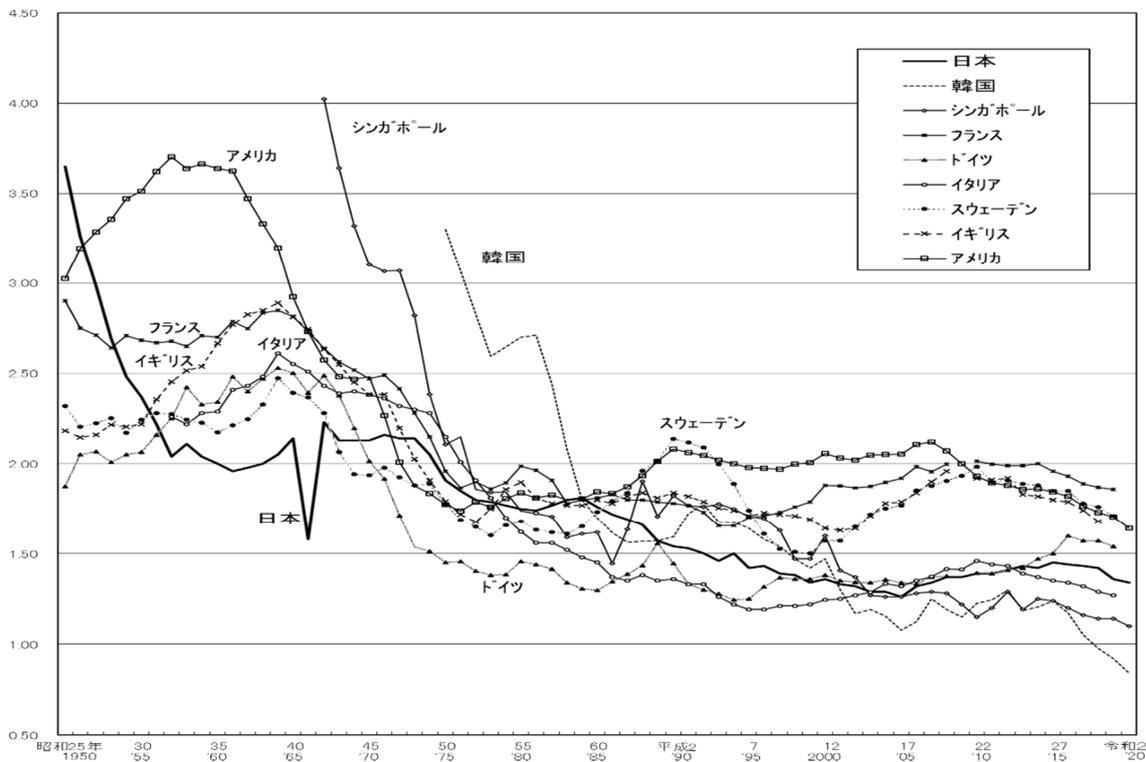
国際比較

韓国、シンガポール、フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデン、イギリス及びアメリカについて合計特殊出生率の年次推移をみると、ヨーロッパの5か国は、1960年代後半から1970年代前半にかけて低下傾向がみられた後、フランス、スウェーデン及びイギリスは上下変動しながらも2000年以降2010年頃まで上昇したものの、その後低下している。一方、ドイツ、イタリアは1.2前後の低い出生率から回復し、ドイツは1.5台で推移、イタリアは再び低下している。

アメリカは、1960年代から1970年代前半にかけて急激に低下した後、1.8台で推移していたが、1990年代には2台まで回復したものの、2007年以後低下している。

一方、韓国及びシンガポールは、時期に差があるものの、合計特殊出生率3~4という高い水準からの急激な低下がみられた後、1に近い水準で推移している。(図16・表10)

図16 合計特殊出生率の国際比較 — 昭和25~令和2年 —



注：1) 日本の2020年は概数、韓国、アメリカの2020年及びフランスの2019年は暫定値である。  
 2) 1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。  
 3) 1981年以前のイギリスは、イングランド・ウェールズの数値である。  
 資料：当該国からの資料による。

U.N. Demographic Yearbook 2019, Eurostat Statistics Database による。

表10 合計特殊出生率の国際比較 — 最新年次 —

国及び地域名	最新年次	合計特殊出生率
日本	2020 令和 2年	1.34
韓国	1) 2020 2	* 0.84
シンガポール	1) 2020 2	1.10
フランス	2) 2019 元	* 1.86
ドイツ	2) 2019 元	1.54
イタリア	2) 2019 元	1.27
スウェーデン	2) 2019 元	1.71
イギリス	2) 2018 平成 30	1.68
アメリカ	1) 2020 令和 2	* 1.64

注：日本の数値は概数、\*印は暫定値である。

資料：1) 当該国からの資料による。

2) Eurostat Statistics Database による。

母の年齢階級別に出生率（女性人口千対）の国際比較をみると「25～29歳」及び「30～34歳」が高く、「30～34歳」で出生率がピークになっている（表11）。

表11 母の年齢階級別出生率（女性人口千対）の国際比較 — 最新年次 —

国名	最新年次		総数	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
日本	2019	令和元年	35.7	2.8	24.9	77.2	98.5	55.8	11.7	0.3
韓国	1) 2018	平成30	26.4	1.0	8.1	39.9	89.5	45.9	6.4	0.2
シンガポール	1) 2019	令和元	39.1	2.5	13.4	64.9	108.1	59.6	11.4	0.5
フランス	1) 2018	平成30	51.6	4.6	40.2	107.0	126.9	68.8	18.0	1.2
ドイツ	1) 2018	30	46.2	7.4	35.8	84.3	109.8	63.3	13.5	0.6
イタリア	1) 2018	30	34.8	4.1	25.0	62.0	89.2	59.7	15.7	1.4
スウェーデン	1) 2018	30	53.1	4.3	39.6	104.9	124.9	66.9	14.2	1.0
イギリス	1) 2018	30	49.3	11.8	49.5	89.6	106.5	63.6	14.5	1.0
アメリカ	2) 2019	令和元	58.3	16.7	66.6	93.7	98.3	52.8	12.0	0.9

資料：1) U.N. Demographic Yearbook 2019による。

2) U.S. Department of Health and Human Services, National Vital Statistics Reports, Vol. 70, No. 2による。

出生に占める嫡出でない子の割合の国際比較をみると、高い割合となっている国が多く、特に、フランス及びスウェーデンは、出生の半数以上が嫡出でない子となっている（表12）。

表12 出生に占める嫡出でない子の割合の国際比較 — 最新年次 —

国名	最新年次		割合 (%)
日本	2019	令和元年	2.3
フランス	1) 2019	元	61.0
ドイツ	1) 2019	元	33.3
イタリア	1) 2019	元	35.4
スウェーデン	1) 2019	元	54.5
イギリス	1) 2017	平成29	48.2
アメリカ	2) 2019	令和元	40.0

資料：1) Eurostat Statistics Databaseによる。

2) U.S. Department of Health and Human Services, National Vital Statistics Reports, Vol. 70, No. 2による。